

関西学院大学研究データポリシー

2025年2月21日 研究科委員長会 承認

関西学院大学はキリスト教主義によってたつ教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、全人的な教育と創造的な研究によって世界市民を育成することを使命とする。研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することを旨とする。

研究成果を蓄積し、更なる研究の発展と社会への還元を進めるにあたり、研究活動で得られる研究データの管理、公開及び利活用についてのポリシーを以下の通り定める。なお、本ポリシーは方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

(研究データの定義)

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、関西学院大学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成された情報を指す。

(研究データの管理等)

2. 研究データの管理ならびに公開および利活用の方法は、それを収集または生成した研究者が、法令および関西学院大学の規程その他これに準ずるものの範囲内ならびに他の者の権利および法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

(研究者の責務)

3. 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

(大学の責務)

4. 関西学院大学は、研究データの管理ならびに公開および利活用を支援する環境を研究者に提供するものとする。

(ポリシーの見直し)

5. 本ポリシーは、研究推進社会連携機構所管とし、社会や学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。